

中央地区環境市民会議が調べた環境の現状

地区を流れる浅川は、水質が良好で魚影も濃く、湧水のある箇所ではメダカの固有種の生息が確認されています。以前と比べ、自転車や車のタイヤなどの大きな投棄物はなくなりましたが、橋の下や中洲では、依然としてペットボトルや菓子の空袋などが散乱し、全体の量は減っていないと言えます。

道路でも、交差点や橋の付近、住宅地などでタバコの吸い殻や使用済のマスクなどが散見されます。

甲州街道等の幹線道路で行っている大気汚染測定結果においては、いずれの観測地点も基準値以下に収まっています。

■ 中央地区の主な取組

1 地球温暖化防止のための省エネ生活の推進

6月に、市民へゴーヤの苗を配布し、みどりのカーテンの普及を推進しました。今後もイベント等において、市民へのアピールを図ります。

7月には、地球温暖化防止活動推進員としても活動する4名が「家庭の省エネハンドブック」の改版に取り組みました。

2 ごみの分別徹底とリサイクルの推進

令和2年度はイベントや市民センターまつりが相次いで中止となりましたが、引き続き、ごみの分別の話やリサイクルの啓発活動の機会を伺い、市民との交流の場を創出していきます。

3 河川の清掃活動

11月に、浅川にて9名で実施しました。浅川橋から暁橋の兩岸、浅川橋及び中野橋付近において、河川敷や川の中を中心にゴミを回収しました。悪質な投棄もあるため、監視活動の強化が必要です。



ゴーヤの種まき



省エネハンドブック改版作業



川橋左岸(下流側)

4 河川の巡回観察・調査活動の推進

河川巡回を浅川で34回、南浅川で2回、山田川で4回、川口川で3回実施しました。橋の下を中心に、集積ごみの放置が常態化しているため、市と協力し回収を行いました。河川観察は、野草花・野鳥・河川状況といったテーマの下、29回行いました。

また、水生生物調査を9回、流量・水質調査を4回実施し、6月に行われた水環境の全国一斉調査の結果(COD)では、「きれいな水」の判定でした。

今後も、各調査地の環境を維持する方法を検討する必要があります。



浅川右岸萩原橋上流湧水溜り

5 環境教育・環境学習などの推進

小学校の環境教育支援を行い、地区内4校にて体験学習と課題別学習を延べ4日間、延べ25名の参加により支援しました。

今後も、支援登録者の増員と支援者のフォローアップ体制の強化を図ります。

また、市で行われた環境パネル展、エコひろば主催のパネル展に、作成したパネルを展示しました。



第十小学校 川の課題別学習

6 まちのみどりの保全

(1) 自然体験講座の実施

「八王子市、高尾駅から南浅川沿いの歴史と文化を知る」をテーマに、南浅川沿いのみどりと歴史・文化を紹介する「まちなかウォッチング」を10月に開催し、21名が参加しました。

また、「浅川ふしぎ探検」を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し中止としました。

(2) 環境フォトコンテスト展

令和2年度は、新たにインターネット上で作品を発表する形式を取り入れました。1月21日から3月末までの応募期間中、13名より計62点もの作品が集まりました。



まちなかウォッチング

(3) 大気汚染測定

12月の都内一斉調査日に合わせ、地区内10か所にて二酸化窒素濃度の定点測定を実施しました。(例年は6月にも実施しています。)全ての測定地点において、環境基準(NO2濃度0.04~0.06ppm内または以下)の達成が確認されました。